

年頭に当たって

あけましておめでとうございます。

本年が皆様お一人おひとりにとって、輝かしい良い年となりますよう祈念申し上げます。

昨年4月より、農林漁業信用基金においては第5期の中期目標・中期計画期間が始まりました。新たな中期目標では脱炭素・グリーン化の取組の導入・加速化、デジタル技術を活用したスマート農林水産業の実装など社会経済情勢の変化に対応した信用補完業務を適確に展開することが求められており、各関係機関・団体の皆様にも様々な機会を通じて対応をご相談させていただいたところ です。

本年はこのような新たな取組を含めて業務の内容を深化させ、具体的な成果へと結びつけていく年にしなければならないと考えております。

また、昨年は、特に夏が「最も暑い夏」と言われ、地球温暖化の影響がこれまで以上に認識された年でもありました。このような気候変動は農林漁業に対しても、農業における一等米比率の低下、漁業における一部魚種の不漁の深刻化など、大きな影響をもたらしたところです。森林吸収源に対する取組の強化はもとより、脱炭素化・グリーン化の取組がますます重要となっていることが痛感されました昨年でありました。

そして本年は、食料・農業・農村基本法の改正が検討されるなど、大きな制度の見直しが予定されている年でもあります。食料安全保障を取り巻く環境の変化等に対応した政策の再構築が進められるものと思います。

これらの状況を踏まえつつ、信用力の補完等を通じて農林漁業者の皆様を支援するという農林漁業信用基金の本分に立ち返って、業務の充実に努めてまいりますので、関係各位のご理解、ご支援を引き続きよろしく願いいたします。

本年の干支は甲辰です。甲は、物事の始まり、成長、辰は活力が旺盛なさま、とあります。このように、皆様それぞれの地域において農林漁業が更に発展され、地域の活力につながっていくことを心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

独立行政法人農林漁業信用基金

理事長 牧元 幸司

